



## 1349 5年「ペアで協力してタブレットで調べる」1/20

- 二人で協力してタブレットを使って調べました。協力できたけど、あと1問できなかつたので、くやしかったです。Aさん
- タブレットで調べるのはむずかしかったです。でも、くわしく調べられたのでよかったです。Bさん
- 今日の理科は今までで一番協力できました。タブレットでいろんなことを調べられました。Cさん
- ペアで、いつもよりたくさん協力できました。協力したら、たくさんいいことがあることが分かりました。Dさん
- ぼくは新しいパソコンをはじめて使ったけど、うまく使えなし、目標を全部できました。うれしかったし、練習になってよかったです。Eさん
- 協力してできました。調べても出てこない場合は、ペアで協力して考え、表現を変えることができました。交代しながらできました。Fさん



## 1350 「感染拡大する新型コロナウイルス」1/30

中国の武漢で新型コロナウイルスの感染が拡大しています。武漢は封鎖されました。感染が収まるまで、人々は外出できません。その中で、「武漢から来た観光客が関西空港で逃げ出した。」というデマは日本と中国に広がりました。

2016年の熊本地震でも、悪ふざけのデマ。「おいふざけんな、地震のせいでうちの近くの動物園からライオンが放たれたんだが熊本」。市街地にいるライオンの画像と共にツイッターで投稿。1万7000回以上もリツイート。結果。投稿した人は逮捕されました。

大きな災害が起こると、「不安をあおること」でリツイートの数を増やして喜ぶ人たちがいます。南海トラフ大地震を控えている私たちは、手にした情報が「命を救う情報」か「命を奪う情報」のどちらなのかを判断する力が必要です。

妻「今度の新型コロナウイルスの死者は多いよ。」

私「確率を計算してごらん。」

妻「死亡率は2%だ。」(SARSは10%!)

私「98%は死なない。その2%に入った人にとっては大変だけど。」

次の日、これを書いていたら、帰宅した妻が

妻「お店で、大人用のマスクが売れ切れになっているよ。ビックにもない。ダイキは1人2箱しか売ってくれない。」





## 1351 3年 Aさん「温泉の色」1/7

年末に鹿児島へ行きました。

ぼく「なぜ指宿の温泉には色がついているの？」

姉「たしかに、ここの温泉には茶色の色がついているわ。」

父「温泉は土の中では、どうめいなんだよ。」

ぼく「へ〜。」

父「温泉に色がつくのは土から出てきて、空気にふれて色がつく。」

姉「本当に？」

父「そうだよ。温泉には茶色や白などの色があるけど、それは温泉にふくまれる成分によって色がちがうんだ。もう少し大きくなったら温泉の成分について勉強しよう！」

★ 青やオレンジの温泉もあります。別府の地獄温泉に行ってみるといいですよ。

「三島の湯」の成分表も見るといい。透明だけどいろいろな成分が溶けています。



## 1352 3年 Bさん「目が回る」1/7

冬休みに家族でゆうえんちに行きました。コーヒークップにのって回ると、目が回りました。

ぼく「父さん、なんで目が回るん？」

父「よし！調べてみるか。」

父「目で見ものは、のうにつたわるから、ぐるぐる回ったら、目にうつるけしきがものすごいスピードで動いて、目がおいつけなくなり頭が大こんらんして、目がけいれんしてしまうからなんやって。」

ぼく「そうなんかあ！目が回ったら、あぶないけん気をつけないかな。」

## 1353 6年 Cさん「どうしてぐるぐると目が回る」12/26

自分「どうして目が回ると本当に前の景色がくるくる回って見るの？」

妹「どうしてだろう？」

父「目で物を見るというのは目だけで感じているのかな？」

目で物を見るということは、目だけで感じているわけではありません。目で見たものが脳に伝わり、そこで初めて“見えた”と感ずるのです。ところが、ぐるぐる回ってしまうと、目に映る景色がものすごいスピードで動いていきますから、目はその景色を追いかけられず頭の中が大混乱してくるのです。そうなる目玉が震えだします。目がけいれんを始めてしまうのです。そのために体は止まっても、目が勝手にいろいろな所を見ているのです。

★ くるくる高速で回転することは日常生活の中ではありません。慣れていないからです。高い所から下を見ると、くらくらするも慣れていないからかな？





## 1354 4年 Aさん「冬になると窓に描けるのはなぜ」1/2

妹「なんで冬になると窓に、いろいろなものが描けるん？」  
私「窓の外側の方が冷たいと、内側の方に水滴がついて、それを指でふきとっているから、いろいろなことが描けるんよ！」

兄「それって理科で習ったやつ？」

私「うん！」

もっとくわしく調べると、ぜんそくになる可能性が高まるとありました。私も車の中で描くことがあるので不安になりました。

★ ついた水滴のせいでカビが生えやすくなります。このカビが喘息の原因になるということです。



## 1355 5年 Bさん「窓にできる霜」1/6

私「冬になったら、窓に氷みたいなものがつくよね。あれって何なんだろう？」

母「あれって落書きできるよな。何でできると思う？」

私「ネットで調べてや。」

母「ええよ。」

窓に着くのは霜です。家の中の水分が蒸発してガラスにつき、それが外の冷たい気温によって凍ったものです。

私「あれに落書きできるの楽しいな。私、それに落書きするの好きやしな。」 母「私も。」



★ 親子で落書きを楽しんでいますね。

## 1356 5年 Cさん「ミカンについて」1/3

私「ミカンを食べたいな。」

母「買いに行こう。」

私「いろんな種類があるな。」

母「千帆は何が好き？」

私「真穴ミカンが一番好き。」

\*ミカンの歴史

温州ミカンは日本生まれと言われている柑橘です。百年ほど前に中国から鹿児島県に伝わった柑橘の種から偶然発生したと考えられています。

母「温州みかんは日本生まれなんやな。」私「温州みかん食べたいな。」

★ 「真穴ミカン」と言うところを見ると、ミカン通ですね。焼きミカンは試しましたか？弱火で焼くと実が煮えてしまいます。強火で短時間で焼いた方が美味しいようです。





## 1357 4年 Aさん「水族館の生き物たち」1/5

ぼく「水族館で魚やイルカを見ていた時、魚の尾ヒレを左右に動かしていたのに、イルカは尾ヒレを上下に動かしながら泳いでいる。」

父「ヒレの向きと動かし方が違うな。」

弟「同じ海にいる生き物なのに、なぜ違うのかな？」

ぼく「本やインターネットで調べてみよう。」

父「イルカは人間と同じ哺乳類で、水中で呼吸は出来ないの、水面へ上がって呼吸をする。」

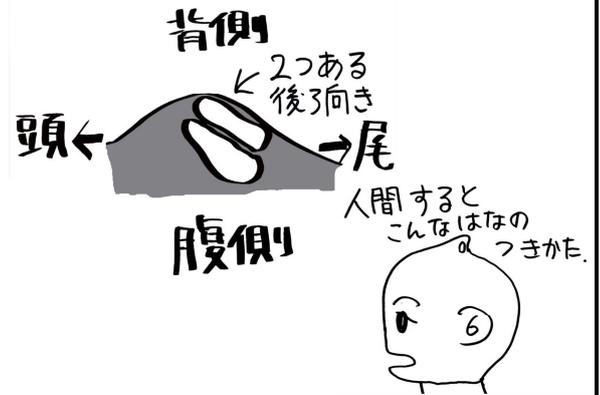
と書いてあるよ。

魚と同じ向きにヒレがついていると、左右に動かすために前進する推進力がかかるので、水面へ上がるのが難しいんだって。」

母「肺呼吸とエラ呼吸の違い。進化の過程で変化していった。とも書いてているね。」

ぼく「イルカの背中に呼吸する穴が開いていた。」

★ 背中の穴は、鼻の穴です。きちんと2つの穴があります。人間にあてはめると頭の上。穴は後ろ向き。人間とは場所も向きも異なります。それは海での生活に適応した結果です。祖先はカバと同じです。



## 1358 4年 Bさん「山のゴキブリ」1/7

妹 「ゴキブリー！」

祖母「ふつうのゴキブリとちやうやろ？動きがおそいけん、すぐ退治できるよ。」

ぼく「ほんとうや。ぼうでつついても逃げん。」

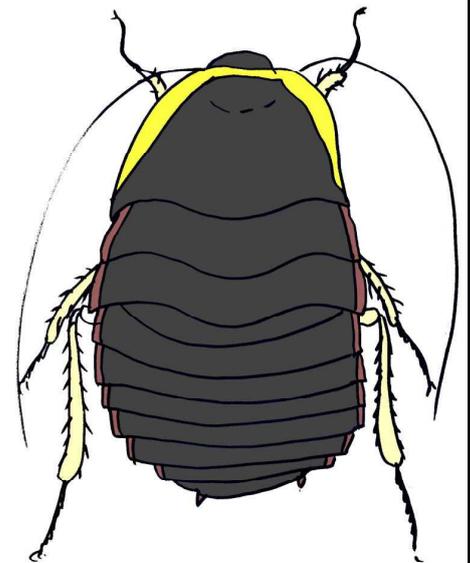
祖母「外にいっぱいおるんよ。見ている？石をはいたら、いっぱい出てくるよ。」

ぼく「三匹出てきた。羽がなくて、丸いね。」

祖母「今までおらんかったんやけど、2年前から急にあらわれだしたんよ。ここの人はみんな、山のゴキブリと呼びよる。家の中にはおらんくて、外にだけおるんよ。」

サツマゴキブリ

- 九州や四国など暖かいところにしかない。
- 体長25～35mm
- 森林や石の下などにいる。

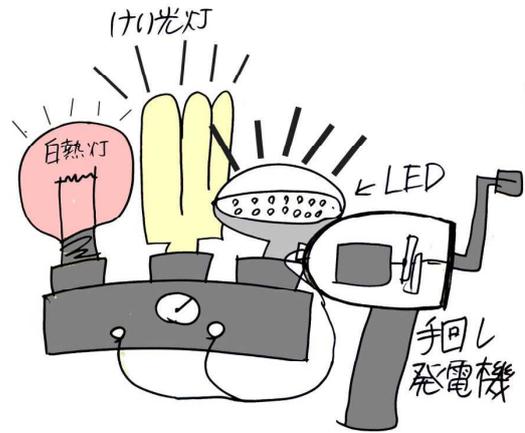


★ 国立環境研究所によると、四国の自然分布は高知県だけです。不快害虫で、多数の病原体を運ぶとあります。温暖化の影響で分布が広がっています。



## 1359 6年「手回し発電機で電気をつくる」2/4

- LEDは、ゆっくり回しても光ったので、びっくりしました。Aさん
- 普通の電球とLEDは全然電気代が違うことを知りました。LEDの方がすごくおとくだと知りました。Bさん
- LEDの時が手応えが一番重いと思ったけど一番軽かったです。Cさん
- LEDは電気消費が少ないからとても資源を大切にできます。Dさん
- LEDはじゅみょうも長いし電気を使う量も少ない。けれど値段が高いからダメと思ったけど、長い目で見たら得と分かったので、大人になったらLEDにします。Eさん
- LEDがすごく手応えが軽かったのでおどろきました。理科室でした実験で、真ん中のが明かりがつかなかったので、またやりたいです。Fさん
- 白熱灯、蛍光灯、LEDの三つの中で、LEDが一番エコで、長持ちで、電気代をくわないと思いました。Gさん
- LEDは逆回転だと光らないので驚きました。Hさん
- 4年生の単元まとめノートは、きれいにまとめられていました。Iさん
- 4年生のまとめノートは、みんな、絵が上手でした。Jさん



## 1360 5年 Kさん どうしてイルカは港に来るの 1月5日

おばあちゃんの家近くの港にイルカが来たので聞いてみました。

ぼく「どうしてイルカは港まで来るの？」

父「この辺は釣りをする人が多くて魚がいっぱいいるから、魚をねらってイルカが入ってくるんじゃない？」

母「イルカがいると魚が釣れなくなる、と聞いたことがあるな。」

父「いつも、ここで見れるのではなく、いろんな場所に移動しているみたいだよ。」

おばあちゃんは「八幡浜や伊方や吉田の方にもいたらしいよ。」と言っていました。魚を追いかけて移動してるみたいです。イルカは可愛いけど、漁業の人は困っているなと思いました。

★ 南予ではイルカが多いのかな。1月11日には、香川県にイルカの群が現れてニュースになりました。瀬戸内海に「スナメリ」というイルカがいます。

